



文芸  
コーナー  
作文・詩

今回の児童・生徒のコーナーでは、白浜小のお友達のお作品を紹介いたします。(敬称略・順不同)



2年  
あびるゆきえ

じやがいもほり

きのう、わたしは、おばあちゃんとじやがいもほりをやりました。とってもおもしろかったです。はじめにわたしがほっていたら、まるいものがありました。ほつてみたらじやがいもでした。すごく大きいじやがいもでした。つぎにまたほったら、こんどは小さいじやがいもでした。おばあちゃんがほったら、わたしがさいしょにほったじやがいもより、もっと大きいじやがいもでした。そんなことをしているうちにずいぶんいっぱいじやがいもがとれました。バケツ二はいにダンボールばこ二こもとれました。おばあちゃんとふたりでとったじやがいもをお昼食べたらすごく



2年  
かわのみよし

六月十三日の日記より

先生あのね。きょう、かえりに雨がふっていたので、かさをさしてかえりました。かえったらおばあちゃんだけだったので、「おばあちゃん、おじいちゃんは」とききました。そうしたらおばあちゃんは、「おじいちゃん、田んぼに行ってる」といったので、びつくりしました。雨なのに田んぼに行っているなんて、ぜんぜんしんじられません。でも、ほかにも田んぼにいる人がいるのだとおもいました。わたしは、たいへんだなおもいました。

おとうさんも、雨でもそんなにやねのないところではたらいっているので、よくかぜをひかないなどおもっています。おとうさんは、小さいころにへんとうせんをとってしまつたら、一回もびょういんへ行ったことがないのでそんけいしています。



4年  
高野 里美

雲

真白な雲  
わたがしのような雲  
いろいろな形をしている雲  
みていると  
やわらかそうな雲  
雲って何でできているのかな



4年  
畔蒜由香子

えんぴつ

えんぴつは役にたつと、小さくなる。もつと役にたつと、なくなってしまう。わたしたちは、役にたつて、いいけれど、えんぴつは、小さくなつてかわいそう。



6年  
向後 春美

海

大きな広い海  
どこまでも続く海  
海にもうれしいことやおかしいこと  
かなしいことがあるのかな  
人間と同じように



6年  
鈴木 美加

星

まどをあけた。  
空を見上げると  
かぞえきれないほどの星。  
七月七日の川をはさんだその  
両はしに、きれいにかがやく星  
一つずつ。  
それは、おりひめといわれること座。  
もう一つ、それは、ひこぼしといわれる  
わし座。  
七月七日、空で、一番かがやく星、  
その二つ。

俳句

栗の花雷雨激しく  
ゆさぶりぬ  
越川せつ子